

研究者の横顔			
フリガナ	コバヤシ ダイユウ		
お名前	小林 大祐	助成金額	50 万円
ご所属	国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科		
研究テーマ	化学療法に伴う血液腫瘍患者の認知機能の変化に関する前向きコホート研究		
1：研究者になろうとしたきっかけ			
<p>私はこれまで、理学療法士として病院や地域でがんサバイバーに運動療法の意義を伝える活動を行ってきました。その中で、治療を続けながら、多様な有害事象により生活上の困難に直面している現状を知りました。理学療法士として少しでもがん治療を支え、生活の困りごとを解決したいと考える中で、がん研究に取り組んでいます。</p>			
2：助成研究の内容紹介			
<p>近年、化学療法に伴う認知機能障害が日常生活に影響を及ぼすことが指摘されていますが、国内の疫学データやリスク要因に関する知見は不足しています。また、運動療法の効果が示唆されているものの、化学療法前後の身体機能との関連は明らかではありません。本研究では、悪性リンパ腫患者を対象に、認知機能と身体機能の変化を追跡し、ケモブレインの罹患率とリスク要因を明らかにすることを目的としています。</p>			
3：2の将来に繋がる結果予想・目標			
<p>本研究では、化学療法前後の認知機能および身体機能の経時的変化を検証し、ケモブレインの罹患率と関連要因について実証的データを提供します。これにより、化学療法に伴う認知機能障害の実態解明に寄与し、将来的な予防・介入法の基盤を築くことが期待されます。また、化学療法開始時点でケモブレイン発症リスクの高い患者を予測する評価指標の確立を目指し、多職種連携による予防的介入の実現に繋げてまいります。</p>			
4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ			
<p>この度はご採択いただき、心より御礼申し上げます。RFL関係者の皆様には、改めて深く感謝申し上げます。今回のご支援を励みに、がんサバイバーの皆様に寄与する新たな支持療法の確立に向けて、真摯に取り組んでまいります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。</p>			